

| | |
|-----------|-------------|
| 2015年度 後期 | リフレクションペーパー |
|-----------|-------------|

| | | | | | | | | |
|-------------------|---|----------|-----------|------|------|-----|------|----|
| 学科名 | 生物環境化学科 | | | | | | | |
| 科目名 | 数学Ⅱ | | | | | | | |
| 科目区分 | 専門科目 | 単位数 | 2 | 開講時期 | 1年後期 | | | |
| 必修・選択の別 | 選択 | | | | | | | |
| 担当者 | 河津博文 | | | | | | | |
| 授業の到達目標(シラバスから) | <ul style="list-style-type: none"> ・化学量論を十分に理解した上で、濃度計算などの化学計算ができる。 ・対数・指数関数など特殊な関数を含む数式の内容が説明でき、簡単な計算ができる。 ・三角関数を含む数式の内容が説明でき、簡単な計算できる。 ・微分・積分を含む数式の内容が説明でき、簡単な微分・積分の計算できる。 | | | | | | | |
| 日程と内容 | <p>9/16：導入講義：授業の進め方と成績評価法を説明。 9/30：原子量や分子量など化学計算の基礎事項につき学習。 10/7：溶液濃度の計算や化学反応式を用いた化学量論計算の方法につき学習。 10/14：関数や方程式といった数学の基本事項につき学習。 10/21：関数をグラフにする方法、方程式を解く方法などにつき学習。 10/28：対数・指数関数の性質や公式につき学習。 11/4：対数・指数関数を応用した問題を解く方法につき学習。 11/11：三角関数の性質や公式につき学習。 11/18：三角関数を含む数式を応用した問題を解く方法につき学習。 11/25：生物・環境・化学分野で現れる対数・指数・三角関数を含む関数や方程式につき学ぶ。 12/2：微分・積分の考えと公式など基本的な事項につき学習。 12/9：微分・積分を含む数式とグラフの関係につき学習。 12/16：生物・環境・化学分野で現れる微分と積分につき学習。 12/17：微分方程式の考えとその解き方につき学習。 1/13：演習を中心としたこれまでの学習内容の復習 1/20 定期試験（60分）</p> | | | | | | | |
| 成績評価基準 | 定期試験 | 40% | 実技 | 0% | 臨時試験 | 0% | 部外評価 | 0% |
| | 報告書・レポート | 0% | プレゼンテーション | 0% | 課題 | 0% | | |
| | 演習 | 60% | 計 | 100% | | | | |
| 授業到達目標の達成度 | 高校数学の復習を含む基本的な事項に関しては目標を達成でき他と考えるが、応用展開する力を付けるまでには全く至らなかった。 | | | | | | | |
| 反省点 | 高校の数学を、大学の化学に結びつけるところで、やはり、どうしてもジャンプがあり、そこを理解してもらうのが難しい。例題に工夫が必要。 | | | | | | | |
| 来年度の計画 | 講義内容の難易に関して、各項目で学生の高校数学の習熟度や講義した内容への理解度がどの程度か明らかになったので、それを踏まえ講義内容、演習問題などを引き続き改善する。 | | | | | | | |
| 授業評価アンケートに対するコメント | 理解や興味の項目が4.1や4.0と低い。しかし、去年よりそれぞれ0.1ポイント高くなったことを前向きに評価したい。自宅学習時間が、他の科目より低いので、もっと課題を出しても良いのかも。反省点、来年度の計画に従って改善して行くのみである。 | | | | | | | |
| 履修登録者数 | 56名 | 定期試験受験者数 | 54名 | 合格者数 | 54名 | 合格率 | 100% | |